

普及だより



庄内総合支庁産業経済部 農業技術普及課 / 同 産地研究室
〒999-7601 鶴岡市藤島字山ノ前51 TEL:0235(64)2103
〒998-0112 酒田市浜中字八窪1 TEL:0234(91)1250

スマート農業技術を活用した産地の強化

～衛星リモートセンシングを活用した「つや姫」生育診断の取組み～



スマートつや姫穂肥診断実演会
(7月7日、鶴岡市播磨にて)

2021 受賞おめでとうございます!

大高根農場記念 山形県農業賞

庄司 祐子さん(鶴岡市羽黒町)



夫と共に株式会社ジェイファームを立ち上げ、農場レストラン「穂波街道 緑のイスキア」を運営し、農村資源を生かした新しいビジネスを展開、女性農業経営者のパイオニアとして活躍され、本県の農業後継者の育成やグリーン・ツーリズムの発展等に尽力されました。

山形県ベストアグリ賞

JA鶴岡ファーマーズマーケット
もとあ〜る生産者の会
(鶴岡市 会長 五十嵐廣 会員数149人)



運営委員会のメンバー白山店にて

平成15年に「産直館」としてスタートし、平成30年には「もとあ〜る」に改名。年々売上額を伸ばし、会員数ともに庄内地域トップの直売所に成長しました。「私も買いたい、私の商品」をスローガンに掲げ、多様な担い手が活躍しています。

「つや姫」おいさの神コンクール



ブロンズマイスター(第3位) 齋藤 学さん (三川町落合)
ゴールドマイスター(最高賞) 鈴木 仁さん (鶴岡市丸岡)

つや姫のさらなる評価向上を目的に、各地域のつや姫生産で指導的立場に立つ山形つや姫マスターの会が初めてコンクールを開催しました。県内の地区予選で選りすぐられた8点の中から管内のマスターが最高賞と、第3位に輝きました。

今年度、新たに認定された農業士の皆さんをご紹介します



五十嵐 一雄さん
(鶴岡市高坂)

水稲とネギを生産しています。平成15年から法人経営を行っています。地域農業の発展のため頑張ります。



大沼 広和さん
(庄内町大野)

水稲と花き(ストック)を生産しています。高品質な花を消費者に届けるため、丹精込めて育てています。

開催案内

庄内砂丘メロン 生産者研修大会2022

日時: 令和4年1月27日(木)午後1時30分~
場所: いろり火の里な花ホール(三川町横山)
内容: 講演「庄内産メロンへの提言(仮)」
お問合せ: 当課担当 千葉、梅津 ☎0235-64-2103



伝言板

- 特別栽培申請のための生産計画の事前確認については、早めにご相談ください。
- エコファーマー認定者で、目標年度が令和3年度となっている方に更新のご案内をお送りしています。継続して認定を希望される方は、3月末までに手続きを行ってください。

ストップ!農作業事故

施設の点検や除雪作業は、施設の倒壊等の恐れがないか、作業する足下に危険はないか、落雪の恐れはないか等、安全確認を十分に! 万一の事故に備えて作業は複数名で!



農薬は適正に 使用しましょう!

- ☆農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!
- ☆生産履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除機具の洗浄を徹底!

新たな年を迎えて

普及推進主幹 佐藤和則

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」になります。その意味は「陽気を孕み、春の胎動を助く」。“冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる”とのことだそうです。昨年を振り返ると、年明けの大雪により多くのハウスが被害を受け、春先には凍霜害・降雹害に見舞われ、果樹を中心に収穫量が大きく落ち込みました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は人々の生活様式を変え、消費の落ち込み等により米価の低下等にも繋がりました。

先程の言葉を借りれば、まさに“厳しい冬”だったように思えます。この冬があったからこそ、今年は“生命力に溢れた春の芽吹き”が訪れることを祈っています。しかし、祈るだけでは芽は吹きません。皆さん、今年は新しいことにトライしてみませんか。

農業技術普及課では、今年度から衛星画像を活用した「つや姫」の生育診断、ハウスきゅうりの環境モニタリング、トヨタ「カイゼン」方式を活用した干し柿生産等、収量・品質、生産性の向上、技術継承に向けた新たな技術の実証等に取り組んでいます。

“華々しく生まれる年になる”よう、皆さんと一緒に頑張っていきたいと考えています。御相談のある方は、お気軽に当課へ御連絡下さい。

2021 普及活動トピックス

農業技術普及課では、水田営農の確立、園芸作物の生産性向上、耕畜連携、6次産業化等の取組みを支援しております。令和3年度の主な活動を紹介します。

スマート農業技術を活用した「つや姫」の品質・食味の向上



スマートつや姫広域実証研究会第1回講習会
(5月26日 水田農業研究所)

高品質・良食味米生産に重要な生育診断を、全ての「つや姫」作付圃場で精密かつ省力的に実施するため、庄内地域全域で『衛星リモートセンシングを活用した生育診断技術』の実証を開始しました。講習会では、生育診断マップの見方や活用方法などについて学びました。

夏メロン日本一産地の強化に向けて



多収栽培現地検討会(7月7日 鶴岡市下川)

昨年「第2期庄内砂丘メロン産地強化プロジェクト」が始まりました。庄内地域は、7～8月のメロン出荷量が日本一で、昨年は近年にない販売実績を上げています。この「夏メロン日本一」の産地の強化を目指して、栽培技術の改善(1株5果どりによる多収栽培等)やレシピ集の作成等各種PR活動に取り組んでいます。

さくらんぼの低樹高栽培の導入支援



さくらんぼ「V字仕立て」の栽培検討会(8月26日 鶴岡市熊出)

管内では4年前から、数名が低樹高栽培(V字仕立て)に取り組んでいます。栽培検討会では、生産者、JA、産地研究室と一緒に現地を巡回し、夏季管理や剪定など技術面で難しい点を確認し、意見交換を行いました。

当課では、今後も現地に適した栽培方法の確立に向けて支援していきます。

ストックの生産量増加に向けて



オールダブル品種現地検討会(11月1日 鶴岡市他)

ストックの栽培面積の維持と出荷率向上による生産量の増加を目的に、オールダブル品種の導入を推進しています。この度、鶴岡市等の実証圃と産地研究室において現地検討会を開催しました。地域の生産者と、関係機関の担当者約40名が参加し、収穫期を迎えた有望品種を確認するとともに特性について学びました。

和牛繁殖経営の安定化支援



母牛の栄養度(発育状態)調査(11月9日 鶴岡市小国)

和牛子牛の安定的な生産を続けるためには、母牛のコンディションを保つことが最も重要です。そこで、太り過ぎたり、痩せすぎたりしないように、分娩前後や授精適期前後の繁殖ステージに応じた飼料給与など、適切な飼養管理について関係機関と連携して指導を行っています。

新規就農者の定着を支援



新規就農者への巡回指導(5月19日 鶴岡市羽黒町)

近年、庄内地域では新規就農者が増加しています。

昨年は、課題を抱える新規就農者に対して定期的に巡回を行うなど、重点的な個別指導を実施しました。また、新規就農者や就農予定者を対象として簿記記帳や経営管理、青色申告の基礎に関する講習会を開催しました。

加工食品の開発や既存商品の改善を支援



農産加工スキルアップセミナー(7月20日 酒田農業技術普及課)

農産物を使った商品開発をめざして、県農業総合研究センター食品加工開発部の新たな加工技術を研修しました。米粉餡の製造とその特徴を学び菓子等への活用方法を検討しています。加工食品の試作や、適正な食品表示、制度化されたHACCPによる衛生管理についてもアドバイスいたしますので、御相談下さい。

産地研究室の研究紹介



「シャインマスカット」の縦I型栽培の様子(9月6日 産地研究室圃場)

水稲育苗ハウスを活用したぶどう「シャインマスカット」の高品質安定栽培技術の実証に取り組んでいます。新潟県で開発したアーチ仕立ては、主幹がハウスを横断しているため、房にぶつかり、軽トラックが入りませんが、研究中の縦I型仕立ては、ハウス両側に着房させるため通年軽トラックの搬入が可能な仕立て方です。是非、見学にいらしてください。